

25 番	長江 秀幸 議員		
項目	令和3年度予算大綱説明と市政運営の基本方針について		項目
<p>(要旨)</p> <p>1 本市の経済動向と予算編成について</p> <p>(1) 国、県の経済動向をどのように把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 本市の経済動向をどのように分析し、予算に反映したのか伺う。</p> <p>(3) 一般会計約390億2000万円で、過去2番目の規模となり、特徴としては、子どもや若者への支援を手厚くしているが、全体として総合計画の歩みを加速させるための十分な予算編成となっているのか伺う。</p> <p>(4) 新型コロナウイルスの影響などで、市税が前年度比マイナス8.3%、15億円ほど減少し、171億5670万円。中でも法人市民税が33.7%落ち込み7億420万円。固定資産税も7.7%減の70億9430万円となった。減少分を地方特例交付金や地方交付税で補われるが、今後も原資の確保が不可欠になるが、どのように対応していくのか伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) これまでも感染症対策として100以上の事業に取り組んできているが、効果、市民の反応等どのように分析しているのか伺う。また、今後の対応についても伺う。</p> <p>(2) 本市において、間もなくワクチン接種が開始されるが、体制整備等は整っているのか伺う。</p> <p>(3) 公共施設における自動検温器の設置、新型コロナウイルス患者の療養にあたって必要なパルスオキシメーター（血中酸素濃度計）の整備についての見解を伺う。</p> <p>3 第6次瀬戸市総合計画の将来像の実現について</p> <p>(1) 総合計画は5年目を迎えるが、人口の社会増等がつづいていることから一定の成果としてあげられている。その反面課題も多いと考えるが、どのように考えるのか見解を伺う。</p> <p>(2) 人口の社会増は継続しているものの全体の人口減少は続いているが、現状をどのように分析しているのか伺う。また、人口減少に歯止めをかける対策についての考えを伺う。</p> <p>(3) 総合計画の将来像である「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」の実現をめざし、「持続可能なまちづくり」の観点からSDGsの視点を意識し中期事業計画等にも反映されたことを評価するが、企業等、若者への一層の普及啓発について伺う。</p>	

25 番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)		(要旨)	
(4) 「温故創新」という言葉を用い、「これまでのせと」から「新しいせと」への転換をうたわれているが、具体的にどのように取り組んでいくのか伺う。		⑤ 地産地消、農業の6次産業化という施策を打ち出してしばらく経つが、その間の進捗状況と新年度の取り組みについて伺う。	
4 都市像「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」について		(2) 年齢や性別にかかわらず、働くことや起業・創業に挑戦できるまちづくりについて	
(1) 地域産業の振興と人材の活躍推進について		① 「せと・しごと塾」も14年目を迎えるが、この間の成果と今年度の取り組みについて伺う。	
① 盤石な産業基盤を築くとの発言をされているが、成し遂げることは容易ではないと考えるが、その決意のほどを伺う。		② 中心市街地商店街への開業支援について、出店しやすくなったなど、なにか支援状況の変化などはあるのか伺う。	
② 先端産業誘致に取り組まれるが、ハイテク産業ともいわれる分野だと思うが、どのような周知方法、また、助成を行っていくのか伺う。		③ 平成29年6月に4つの機能を持った「せとまちツクリテセンター」がオープンし、4年が経過しようとしているが、「ツクリテ」の状況も変化がみられるのではと思う。変化、成長の状況と新年度の取り組みについて伺う。	
③ 既存の地域産業に対しては「産業支援センターせと」を中心として企業の育成支援を行われるが、これまでも支援内容については充実拡大を図ってきたが、支援体制等の更なる拡充もするのか伺う。		(3) 地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションの展開について	
④ 総合計画の政策として地域産業の振興をあげている。その地域産業の一つが赤津焼、瀬戸染付焼である。その販路拡大の絶好の機会である、第38回伝統的工芸品月間国民会議全国大会が本年11月に愛知県国際展示場で開催される。本市としてどのようにかかわっていくのか伺う。		① 「せと・まるっとミュージアム観光推進アクションプラン」に基づき、観光戦略を展開されるが、コロナ禍の中、どのように進めていくのか伺う。また、同時に「シティプロモーションに係るアクションプラン」を策定しターゲットに訴求する取り組みをされるが、そのターゲットとPR方法について伺う。	

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
<p>(要旨)</p> <p>② 新たな観光戦略の展開と述べられているが、ジブリパークの開業は本市にとっても好機である。ジブリパーク周遊観光促進事業という県の事業があるが、どのようにかかわっていくのか伺う。</p> <p>③ 瀬戸市ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）については返礼品も充実されてきており実績をあげてきているが、現状の課題と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>④ 制度を活用し昨年6月に「瀬戸市新型コロナウイルス感染症対策基金」を設置し、新型コロナウイルス感染症対策のさらなる推進を図られている。実績もすでに生まれているが、現状と今後の方針について伺う。</p> <p>(4) 市民生活の利便性を高め、企業活動の活性化につながる都市基盤の整備について</p> <p>① 市民生活の向上を図るには、渋滞緩和の緩和も重要な視点である。愛知県の事業において、ジブリパーク開業の関連ではあるが、周辺道路の渋滞対策も行われる。本市への影響はどのようなか伺う。</p> <p>② 基幹バスを赤津線の塩草土地区画整理地区への乗り入れを行われるが、住民の理解はどのようなか伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>5 都市像「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」について</p> <p>(1) ライフステージに応じた切れ目のない子ども・子育ての支援について</p> <p>① 冒頭の予算編成についての項目でも述べたが、新年度は、子どもや若者の支援に重点を置いている感がある。何を課題とし、どのような支援を行っていくのか改めて伺う。</p> <p>② 新たに「子ども・若者センター」をパーティセとに設置をされるが、児童虐待や不登校、ひきこもり、貧困など多岐にわたる課題に対応していく体制は十分なのか伺う。</p> <p>③ 民間保育所と地域型保育事業所をそれぞれ1園ずつ開園し、保育体制・サービスの充実に取り組まれるが、低年齢保育などの充実は十分に図られることになるのか伺う。</p> <p>④ 入院医療費の助成対象年齢を15歳から18歳まで引き上げられ、評価するところであるが、通院医療費に関してはどのような見解なのか伺う。</p>	

25番	長江 秀幸 議員	項目	項目
<p>(要旨)</p> <p>(2) 瀬戸で学び、瀬戸で育ててよかったと思える教育の実現について</p> <p>① 小中一貫教育が本格的にスタートしたが、一貫教育ならではの課題はあるのか伺う。</p> <p>② 地域の特色を生かした教育、保護者や地域の方々との連携・協働による教育環境の充実にも取り込まれるが、具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>③ 市長が言われる「ひとづくり」に欠かせないのがきめ細かな教育である。政府は昨年12月、それを実現するため、公立小学校の「35人学級」を決定した。クラスの人数について、2025年度までに現在の40人から35人以下へ段階的に引き下げるもだが、現在の状況と今後のスケジュール等について伺う。</p> <p>(3) 都市基盤整備による居住環境の魅力向上と未来に向けた良好な環境の継承について</p> <p>① 愛知環状鉄道中水野駅周辺地区において、新たな都市機能の誘導を図るため、土地区画整理事業に着手をされるが、現時点でどのような駅周辺地区の開発イメージを持っているのか伺う。</p> <p>② 都市公園等の整備、また、南公園用地取得、里山林整備にも取り込まれるが、公園整備の全体像を伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>③ 本市は、学校跡地の活用・整備について何を重点に置いて進めていくのか、スピードにはこだわらないのか伺う。</p> <p>④ 本市の都市基盤整備の課題として狭隘道路の問題があると思うが、現状と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>6 都市像「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」について</p> <p>(1) 誰もがいきいきと、健康に暮らすことができるまちづくりについて</p> <p>① 健康診査、予防接種、各種検診の受診率について伺う。また、コロナ禍の影響でがん検診を控える方が増えていると聞くが、適切な受診機会の確保と働きかけの強化の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 高齢者が生きがいを持って活躍し、支え合いにより、安心して暮らせるまちづくりについて</p> <p>① 地域包括ケアシステムの構築をさらに進めていく必要があるが、現状の課題と今後の取り組みについて伺う。</p>	

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(3) 誰もが自立し、地域で支え合いながら生きがいをもって安心して暮らせるまちづくりについて</p> <p>① 「市民との協働」ということばがさげばれてしばらく経つが、市民の理解は深まっているのか、地域力の向上は図られているのか、行政は課題解決のため地域へ入りきっているのか伺う。</p> <p>(4) 地域の生活環境の向上と安全・安心な地域づくりについて</p> <p>① 「瀬戸市地域強靱化計画」に基づいた取り組みをされるとしているが、やはり訓練を含めた平時の備えが重要であると考えている。防災・減災に係る体制整備・強化についての取り組みについて伺う。</p> <p>7 真に効果のある障害者施策の実施について</p> <p>(1) 瀬戸市自立支援委員会からの意見はどのようなものであったのか伺う。</p> <p>(2) コロナ禍の中、アンケート調査と意見交換会を実施されたが十分な意見等は聴取できたのか伺う。</p> <p>(3) 新たにのぞみ学園において、医療的なケアが必要な児童を受け入れる体制整備など新しい取り組みが開始される。言うまでもなく万全な備えが必要となってくるが、どのように考え整備していくのか伺う。</p>	(要旨)	<p>(4) 全庁的に議論をし、各課にわたる施策となっているが、持続可能という視点が重要である。今後も事業を継続していく中で、さらなる拡充・充実をしていくことが大切になると考えるが、どのように考えるのか見解を伺う。</p> <p>8 行政サービスの向上について</p> <p>(1) AIの活用やRPAの導入による業務の効率化を図り、行政サービスの向上に取り組まれるが、庁内の体制に影響するのか伺う。</p> <p>(2) 市民ニーズに対応した行政サービスのあり方を見直す必要があると述べられているが、どのように検討していくのか伺う。</p>